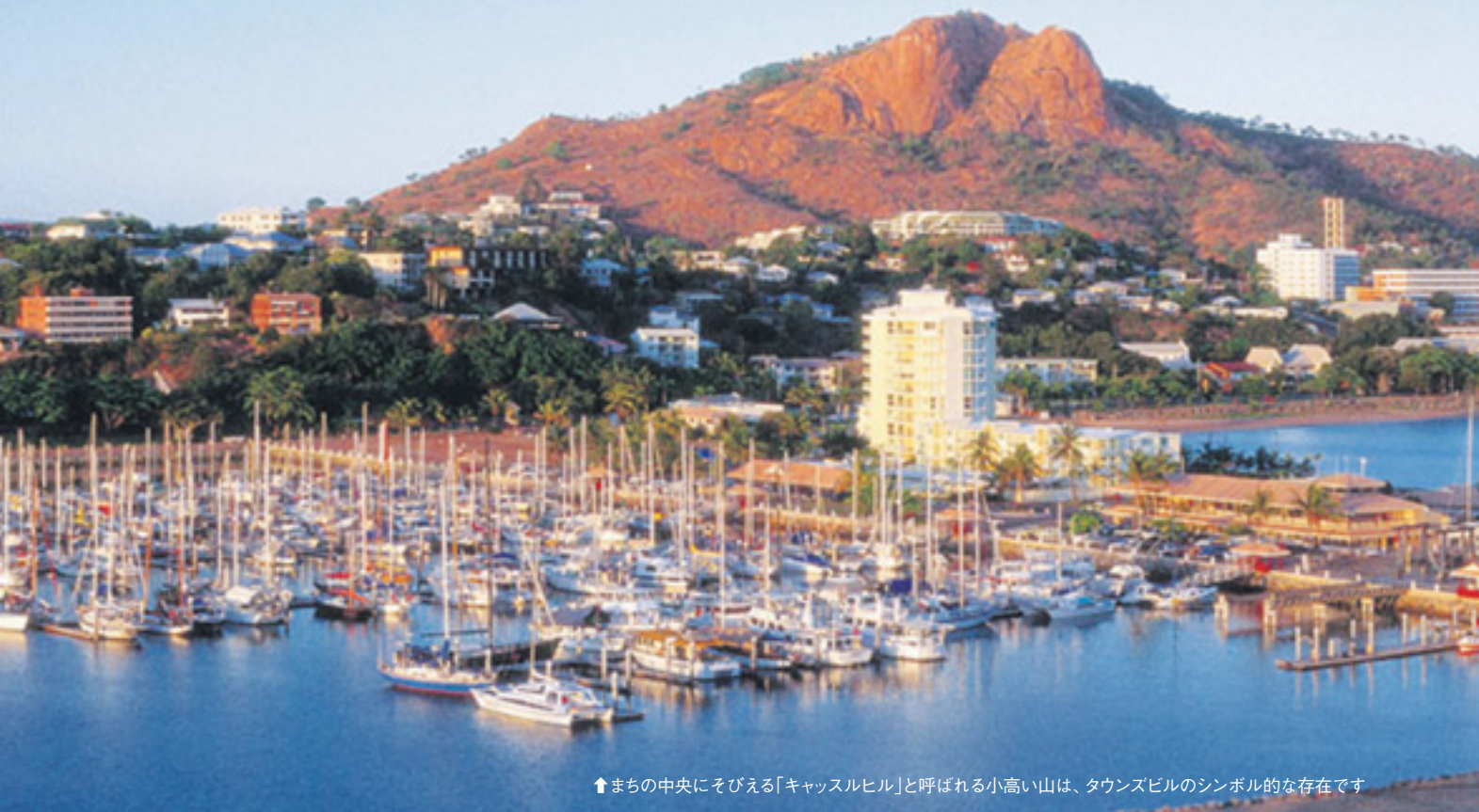


世界の地域から



↑まちの中央にそびえる「キャッスルヒル」と呼ばれる小高い山は、タウンズビルのシンボリックな存在です

オーストラリア・タウンズビル市

タウンズビル市は、オーストラリアの北東岸、海洋リゾート観光地として名高いケアンズの南約300kmに位置する港湾都市で、銅やサトウキビの輸出拠点として発展してきました。世界遺産に登録されている世界最大のさんご礁グレートバリアリーフが目の前に広がるなど、豊かな自然に恵まれており、また、年間を通じて気候が温暖で晴れの日が多いことから、たくさんの観光客が訪れています。

Townsville





↑山の奥には、ウォーラーマンフォールズと呼ばれる大きな滝があります



↑グレートバリアリーフの海の中を再現した水族館「リーフHQ」



↑動物園では、コアラを抱っこして記念撮影ができます



↑「クイーンズランダー」と呼ばれる高床式の伝統的な住宅が数多く残っています。サイクロンによる洪水の被害から家屋を守るために設計されたものです(※)



↑タウンズビル市では、歴史的建造物の保存に力を入れています。写真の建物は、1885年に銀行用に建てられましたが、現在は美術館として利用されています(※)



↑沖合には、グレートバリアリーフのさんご礁が群生しています



↑まちの西部には、緑豊かな山々が連なっています



↑海岸沿いの遊歩道では、散歩やジョギングをする人をたくさん見かけます。スポーツ好きが多いオーストラリアでは、一般的な光景です(※)



↑子どもたちに人気の屋外プールには巨大バケツが設置されていて、バケツの水が満タンになると、バケツが傾いて水が溢れ出す仕掛けになっています



↑まちの外れに残る古い教会



↑オーストラリア最初の日本領事館は、1886年にタウンズビルに設置されました。この建物は、1886年から1908年まで領事館として使用されたものです(※)



沖合に浮かぶマグネティック島は、フェリーで25分の距離にあります。海水浴をはじめ、乗馬、シュノーケリング、スキューバダイビングなどのアクティビティを楽しむことができます

